

海外販路開拓支援事業 2022年4月～2023年3月実施予定 (とくしま産業振興機構)

【課題】

・国内市場が漸次縮小する中、海外展開を希望する県内中小企業が年々増加。県内経済の維持・発展のためには、取組みへの支援が必要。

・コロナ禍の渡航規制等により海外バイヤーとの商談機会が減少し、海外への販路拡大を目指す企業は困難な時期が続いている。そのため、商談機会の提供や販路開拓支援策の強化が引き続き必要。

【目的】

・県内企業の商談機会の提供と、これまで培ったデジタルツールを活用した商談ノウハウを活かした伴走支援を行い、販路拡大を効果的に進展する。
・コロナ収束後に海外向けの動きが一気に動き出すことを想定し、新しい生活スタイルを見据えつつ、いち早い商品開発や新たな市場獲得に繋げる。(支援対象地域：シンガポール、台湾、タイ)

・台湾については、県施策に呼応した、県内企業と台湾企業との産業交流の加速に繋げる。

【都道府県の施策との連携・親和性】
県の令和4年度当初予算「とくしま海外展開支援プラットフォーム事業」の一環として、県からも補助を受けて実施する事業であり、県との連携事業も含め、県の施策にも合致している。

【本事業の内容】

(シンガポール)

令和3年度A事業における、シンガポールバイヤー（輸入卸売業兼小売店経営者）（以下、「バイヤー」という。）と県内加工食品企業とのオンライン商談会を踏まえ、取引企業及び取引商品の拡大を図るため、引き続き、オンライン商談会を実施する。また、現地シンガポールにおいて、プロモーションを実施し、県産加工食品の認知度アップ及び定番化に繋げる。

＜具体的な内容＞

- ・バイヤーと県内企業とのオンライン商談会の実施
- ・バイヤーの経営する日本食品スーパー（シンガポール国内2店舗）の店頭におけるフェアの開催
- ・バイヤーからの商品に対する消費者の反応や改善点等のアドバイス

(台湾)

県内中小ものづくり企業と台湾企業との産業交流を加速させ、相互協力による新市場の開拓を支援する。

＜具合的な内容＞

- ・台湾で開催される展示商談会「TJ Connect Fair2022」への出展（リモート出展も想定）
- ・台湾を中心に貿易をしている商社と県内加工食品企業との個別商談会の実施（オンライン及び直接を併用）

(国内開催：食品輸出展示会)

令和3年度A事業における、海外バイヤーとのオンラインと直接商談を併用した展示商談会（「日本の食品」輸出EXPO（大阪開催））出展での、バイヤーからのアドバイスや情報等を活かしながら、引き続き、令和4年度東京で開催される同展示商談会に出展し、渡航規制や展示会の開催数の減等により、海外バイヤー等との商談機会が減少している県内企業の商談機会の創出はもとより、コロナ収束後を見据えた商品開発や新たな市場獲得に繋げる。

＜具体的な内容＞

- ・「日本の食品」輸出EXPOへの出展（2022年6月・東京）

【成果目標】

○直接的成果目標：

- ・シンガポール小売店での本県加工食品の継続的取引の実現（5社）
- ・台湾と県内ものづくり企業の商談成立（5件）
- ・展示商談会出展による県内企業の商談成立（10件）

○間接的成果目標：

- ・徳島県内の輸出中小企業数
2017年:123社→2022年:145社

【波及効果】

- ・新たな市場獲得や経営拡大による後続企業へのインセンティブ効果の創出
- ・徳島県産品のASEAN市場全体の開拓による県内経済の活性化
- ・台湾との産業交流によるものづくり企業の持続的進展

【将来の支援目標】

- ・徳島県内の輸出中小企業数
2017年:123社→2022年:145社

目標達成のため、ASEAN諸国全体への販路開拓に取り組む。